

平成28年12月20日

保護者様

福島県中学校長会いわき支会長 松本 伸一
いわき市立磐崎中学校長 藤田 秀平

「携帯電話、スマートフォン、ゲーム機等のネット端末の利用状況」
調査結果の報告と指導のお願い

年の瀬の気ぜわしい季節となりました。保護者の皆様にはいつも学校へのご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、中学校長会が県内の全公立中学校の生徒約2万人を対象に実施した、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機等のネット端末の利用状況についての調査結果がまとまりました。家庭での使用時間やSNSで通話する相手の人数などの点で心配な状況が見られました。使用時間が長すぎることによって学業への影響はもちろん、昼夜逆転などの生活習慣の乱れから不登校につながる場合があります。また、不特定多数との通話や通信はトラブルに巻き込まれる原因ともなります。実際に事件となったケースもあり、危険性が高いと考えております。

つきましては、裏面に調査結果の一部を記載しましたのでご覧いただき、お子様のネット端末の利用状況について再確認いただくとともに、お子様への指導に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

調査結果のお知らせとご指導のお願い

I 携帯電話、スマートフォン、ゲーム機等のネット端末利用状況

県内の中学生の、ネット端末利用状況について調べました。接続時間と、やりとりをしている人数について、注意すべき状況が見られましたのでお知らせいたします。

1 平日（月～金曜日）の1日平均のネット接続時間について

- 最も多いのが「1～2時間」で約25%、次いで「30分～1時間」が約20%、「ネット接続なし」が約15%でした。
- 一方で、3時間以上接続している生徒が12%おり、家庭学習や睡眠時間に影響があると思われる。5時間以上も3%いました。

2 休日（土、日、祝日等）の1日平均のネット接続時間について

- 平日よりは長い傾向が見られ、最も多いのが「1～2時間」、次に多いのが「2～3時間」で、ともに20%弱でした。3番目に多いのが「ネット接続なし」の13%でした。
- 3時間以上の接続は28%程度おり、5時間以上接続している生徒が9%いました。ネット依存の状態にあるのではないかと心配される状況です。

3 メールやSNSを使って、やりとりをしている人数について

- 最も多いのが、「ネットでのやりとりはしていない」で41%でした。次に、「10人以内」が27%でした。
- しかし、「50人～100人」が7%、「100人以上」が4%おり、これは相手をきちんと認識できていない状態で通信を行っていると思われる、トラブルが起り得る危険な状態であると考えられます。

II 携帯電話、スマートフォン等を持たせるに当たって

携帯電話等については、支払いをしている親に所有権があること、子どもへは「貸し与えている」だけだということをまず理解させる必要があります。また、携帯ゲーム機などでもSNSを利用することができることを知っておく必要があります。その上で、次のことについてご確認、ご指導をお願いいたします。

- 1 子どものネット接続の現状を正しく把握する。
- 2 端末を購入した目的を子どもと再確認する。
- 3 利用する際の家庭内のルールを子どもと相談して決める。
- 4 必ずフィルタリングをする。
※ 青少年インターネット環境整備法：18歳未満には必ずフィルタリングをすること。
- 5 子どもがどんな使い方をしているか時々確認する。



※ 文部科学省より出されている『情報モラルに関する指導の充実に資する〈児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き〉・〈保護者向けの動画教材・スライド資料〉等』が大変参考になります。陥りやすい問題点や対策を動画などでわかりやすく解説しています。

「文部科学省 情報モラル」で検索していただくと出てきます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm になります。